

JAMAデジタルエンジニアリングセミナー2025

デジタルエンジニアリング分科会 活動概要のご紹介

一般社団法人 日本自動車工業会

総合政策委員会 ICT部会
デジタルエンジニアリング分科会

分科会長

発表者 石毛 定雄

2025年2月28日

目次

1

総合政策委員会組織と当分科会の位置付け

2

デジタルエンジニアリング分科会基本方針

3

外部団体との連携

4

デジタルエンジニアリング分科会活動概要

5

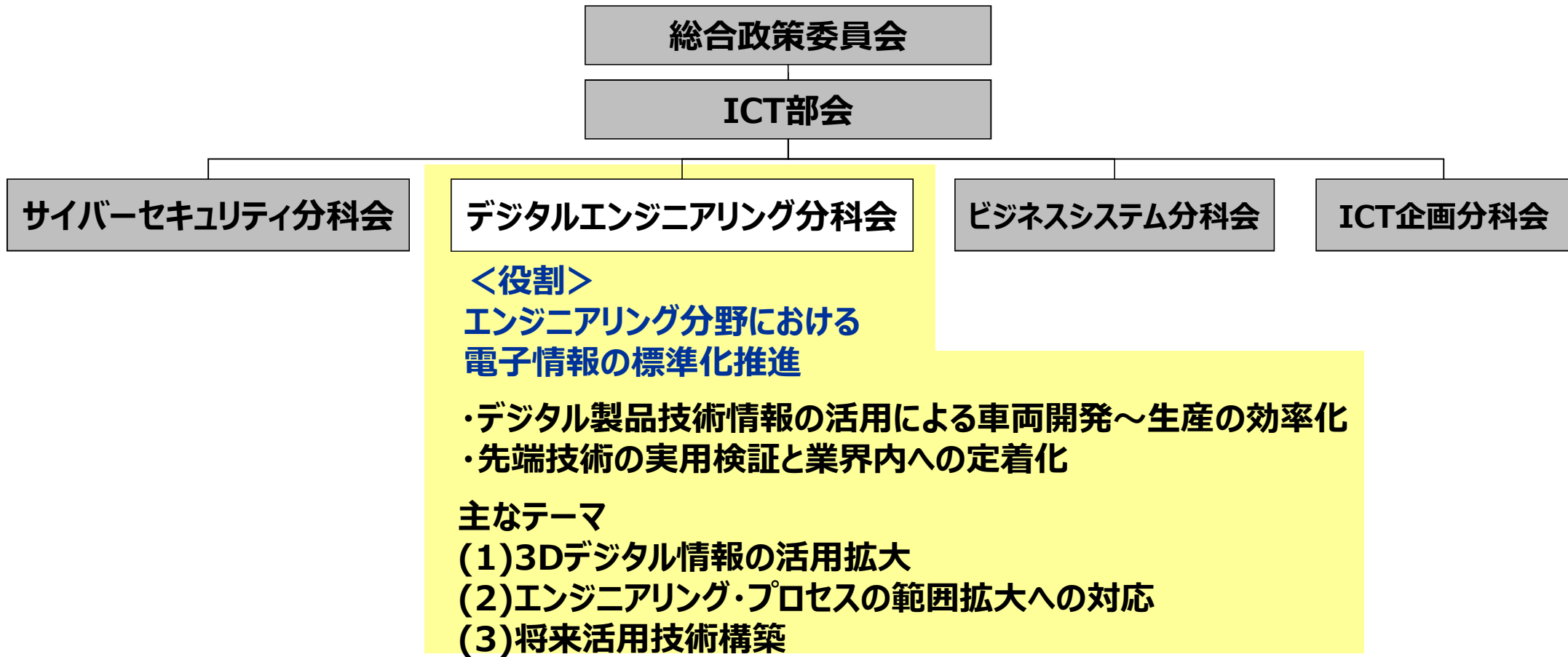
本セミナーの概要

6

当分科会の活動成果“ガイドライン”等の利用について

総合政策委員会組織と当分科会の位置付け

- 国際的視点を持ち、ITの活用を通してモビリティ産業の生産性向上に貢献する



デジタルエンジニアリング分科会基本方針

「7つの課題」直近2・3年で特に優先的に取り組む

-デジタルエンジニアリング分科会 基本理念 -
個社では解決出来ない課題に業界として取り組み
業界を越えた標準化による基盤強化と
将来動向を踏まえた先端技術の実用検証により
質の高い新たな日本の「ものづくり」をリードする

- ① 物流・商用・移動の高付加価値化/効率化
- ② 電動車普及のための社会基盤整備
- ③ 国産電池・半導体の国際競争力確保
- ④ 重要資源の安定調達 強靱な「7つの課題」給網の構築
- ⑤ 国内投資が不利にならない通商政策
- ⑥ 競争力のあるクリーンエネルギー
- ⑦ **業界を跨いだデータ連携**

引用：「自工会ビジョン2035」を公表 - JAMA - 一般社団法人日本自動車工業会

① ニーズを先取りした標準化、協調、先端技術研究にチャレンジ

- ✓ 標準開発と活用展開
- ✓ 業界共通の課題に協調して取り組み、実利の高い最適解を導出
- ✓ 新技術活用を加速し、業界内に定着

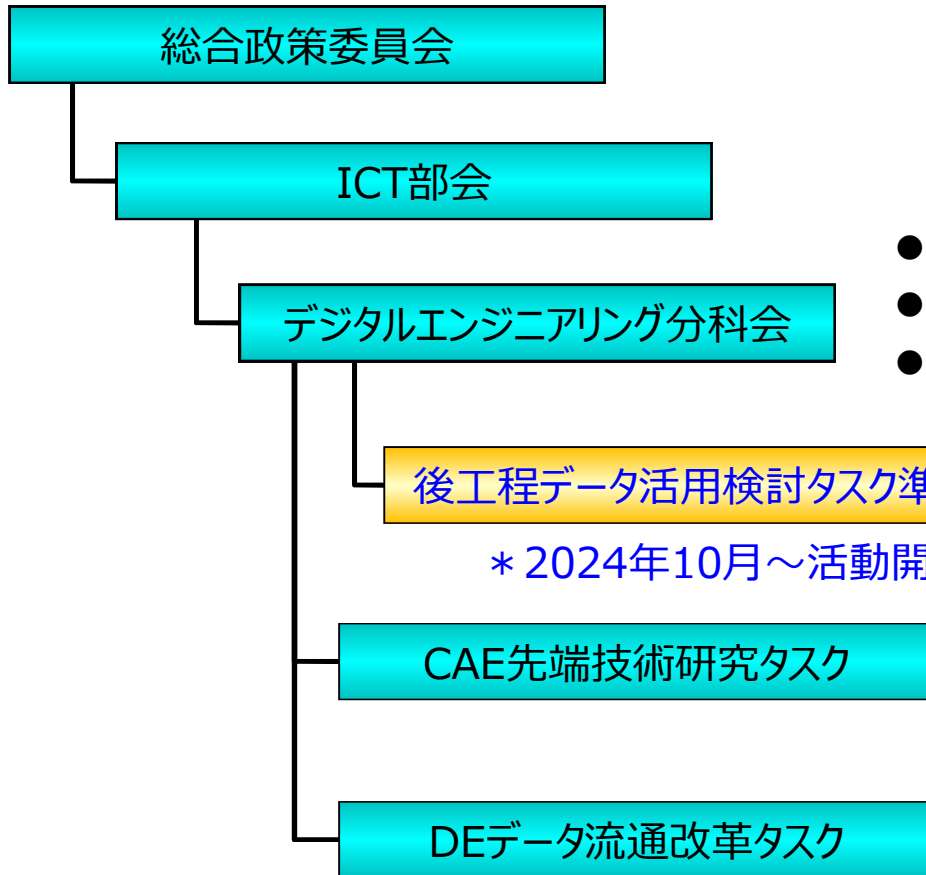
② 実利が期待できる新たなテーマを発掘し、活動体制を構築



デジタルエンジニアリング分科会活動概要



デジタルエンジニアリング分科会の活動



- DE分科会中期計画検討
- 新規活動テーマ検討・提案
- ものづくり標準データ推進協議会 標 協

後工程データ活用検討タスク準備チーム

* 2024年10月～活動開始

- 生技・製造等後工程でDEデータの情報を効率的に活用推進するためのタスク企画提案 標 協

CAE先端技術研究タスク

- 機械学習/CAEなど先端技術開発用クラウドの調査・ベンチマークにより、業界のクラウド活用技術の底上げ 先

DEデータ流通改革タスク

- 業界企業間のデジタルエンジニアリング(DE)データ流通の標準的な手法・運用を提案する 標 協



外部団体等との連携

- 政府機関・国内関係団体：JIS化、ISO対応など、標準化開発推進面での協調
- 国際関係団体：ISO対応、ベンダーへの One Voice 活動
- ベンダー：開発した標準のツール実装要求、標準の共同開発、共同研究






社団法人 日本自動車工業会
Japan Automobile Manufacturers Association

デジタルエンジニアリング分科会

**ITサービスプロバイダー
ITパートナー
ソフトウェアメーカー**

政府機関・国内関係団体



経済産業省
Ministry of Economy, Trade and Industry



文部科学省



JSAGROUP
日本規格協会グループ 2002-1914



一般財団法人 製造科学技術センター
Manufacturing Science and Technology Center

ものづくり標準データ推進協議会



一般社団法人 電子情報技術産業協会
Japan Electronics and Information Technology Industries Association



社団法人 日本自動車部品工業会
Japan Auto Parts Industries Association

国際関係団体



AIAG
Automotive Industry Action Group



GALIA / Gcettec
Groupe pour l'Amélioration des Liaisons dans l'Industrie Automobile

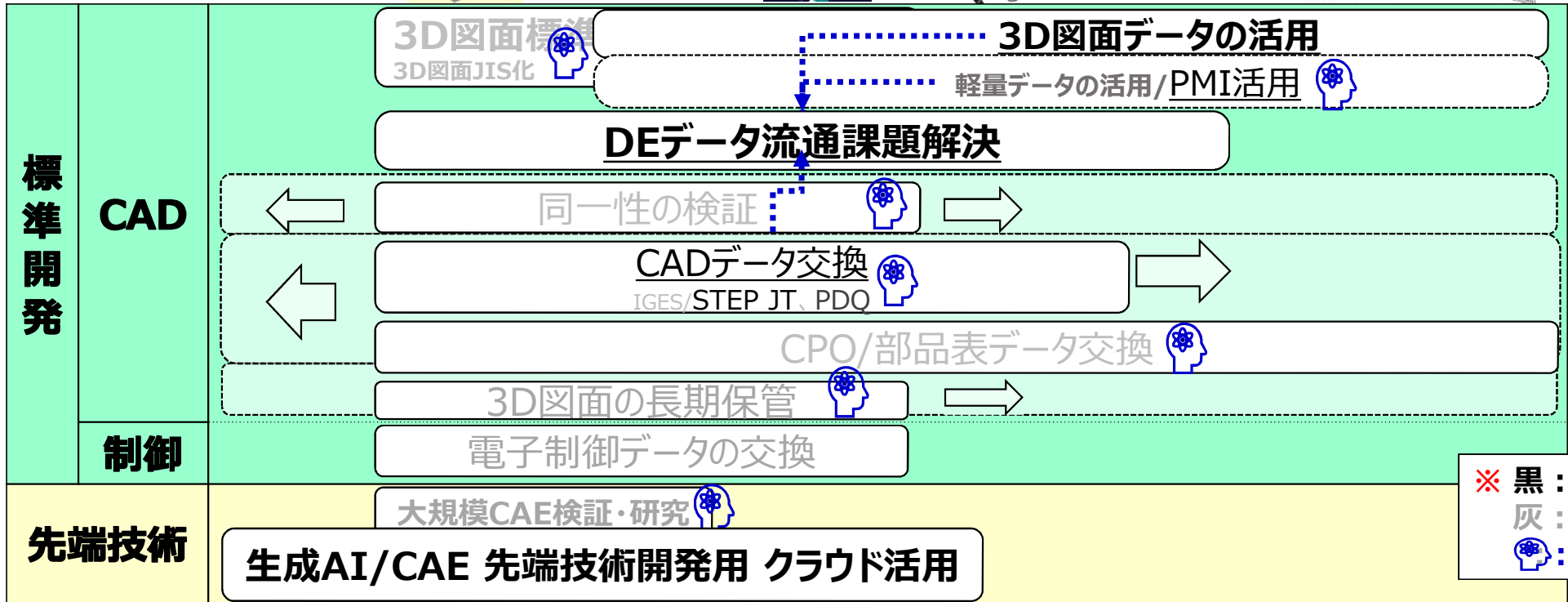
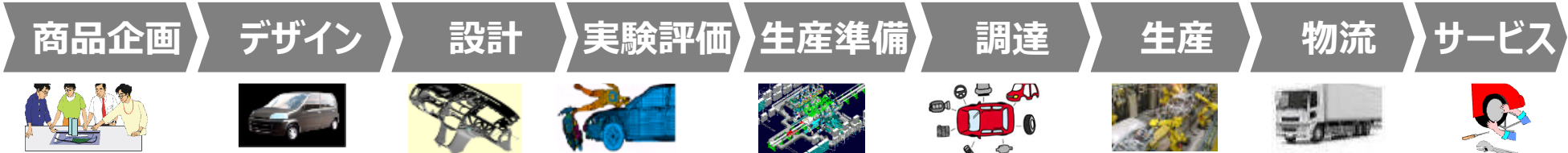


SASIG
Strategic Automotive product data Standards Industry Group



prostep ivip

業界の製品・サービス開発の効率向上を目指して



※ 黒：活動中
 灰：活動済
 知見

製品開発の協調課題を解き、先端技術の活用を促進し、業界の業務効率向上に貢献します

本セミナーの概要

*DE = デジタルエンジニアリング

タイトル	講演者	概要
JAPIA DE部会の活動紹介とAIを活かしたDE 最新動向	JAPIA DX対応委員会 DE部会 部会長 村越 輝美 様	<招待講演> ～設計・開発領域を対象にAI活用を含めた新たなエンジニアリングの形～ JAPIA（日本自動車部品工業会）DE部会の活動、及び活動の一環として自動車業界に精通するITベンダー3社（シーメンス様、PTC様、ダッソー様）による講演会のダイジェスト版を紹介する。
クラウド活用技術調査の取り組み	タスクリーダー 松原 大	<CAE先端技術研究タスク> ～設計開発業務における生成AI活用可能性検証～ 自動車メーカー各社では、先端技術開発のために素早く用意できるインフラとしてクラウド利用を始めており、業界としても活用技術及び知見の底上げを図っている。各社共通の先進技術調査テーマとして、設計開発業務におけるクラウド生成AI技術の活用可能性検証を実施したので、その活動内容を紹介する。
DEデータ流通の課題解決・普及に向けて	タスクリーダー 大谷史樹	<DEデータ流通改革タスク> テーマ① 検討課題とタスク取り組み体制：自動車メーカーと仕入先間のDEデータ流通課題に対応するための取り組み体制を説明する。 テーマ② 3Dを活かした設計業務効率化・高度化：お手本データを作成・変換検証することで、実務的な3D図面の作成・流通の課題を抽出し対策を立案した。3D図面の作成で得た知見を元に、3D図面及びその図面情報のあるべき姿について解説する。
	千古崇夫	テーマ③ DEデータ流通の普及展開への取り組み：自動車業界における企業間のコラボレーションを促進するため、3国際規格を使用した3D・各種属性データ流通を各社に適用するためのルール整備や実務検証、規格と現実の運用の間にあるギャップの解消に向けた取り組みを紹介する。
モノづくりにおけるDEデータ活用の推進	チームリーダー 小林 久紀	<後工程データ活用検討タスク準備チーム> DEデータは、作成・流通だけではなく、効率的な活用も重要である。製造技術分野におけるDEデータ流通・活用課題に関するタスク立上げの企画・提案について紹介する。
ものづくり標準データ推進協議会の取り組み紹介	議長 嵯峨 周司	<ものづくり標準データ推進協議会> 推進協議会のこれまでの活動と、今後の事業テーマ発掘に向けて、現在取り組んでいる“大手企業から中小企業間の3Dデータ流通を阻害する課題抽出”の活動を紹介する。

当分科会の活動成果の利用について

①. “JAMA IT標準” 検索



②. デジタルエンジニアリングに関する・・・を選択



③. 活動項目を選択

- [PDQに関わる活動](#)
- [3D図面の標準化に関わる活動](#)
- [データ交換運用関連情報](#)
- [CAXデータ変換における同一性検証ガイドライン](#)
- [SASIGガイドライン](#)
- [JAMA PLMシステムオープン性の定義書](#)
- [CAEクラウド活用ハンドブック](#)
- [部品表情報交換の標準化](#)
- [電子制御情報の交換](#)
- [製品属性情報の流通](#)
- [デジタルエンジニアリングセミナー2025](#)



④. ダウンロード



⑤. zip解凍



当分科会の活動成果は、自工会のホームページに公開し、どなたでも活用いただけます。
 ご活用にあたりましては、デジタルエンジニアリング活動の一層の普及・展開を図るため
アンケートにご協力いただけます様、よろしくお願い申し上げます。

ご清聴ありがとうございました

引き続きJAMA活動へのご理解とご協力を
宜しくお願い致します